

文化のみち物語
その五
しゅもくかん
樟木館と共に
坂野慎司
(NPO法人樟木俱楽部副理事長)



文化のみち樟木館まるはちの日企画
「日本のうたコンサート」
ソプラノ 河合しのぶ
ピアノ 佐溝章代
◆8月8日(水) PM6:30~7:00
◆樟木館は、当日PM5:00~8:00開館
◆入場無料

今年の4月、名古屋陶業を代表する加工問屋の一人、井元為三郎氏が大正末に建てた自邸が、名古屋市理にあたつているメバードのひとりとしてオーブン。長年井元邸にかかわった坂野慎司さんにお話をうかがつた。

— 樟木館にご縁のできたきっかけは、美術商というお仕事からと聞きました。

1999年当時店子代表だったATデザインさんに依頼されて、「骨董夜話」という催しの講師として来館。「名古屋にこんな場所があったんだ」と驚きましたね。ソタにおおわれた洋館や、昔のままの静かなたたずまいに引かれ、洋館1階にあった喫茶店をたびたび訪れるようになりました。

— 2002年末で店子が退去し、閉館ということになりましたが、そのときのお気持ちは?

残念で、何より文化財指定を受けている建物が荒れいくのを見るのがしのびなかった。それで、たまたま近くに引っ越してきたこともあり、手入れを買って出たというわけです。まず丸年かけて植などの水回り関係の調査と補修をしました。その後、井元家から万博終了時までは維持するという意向を聞き、地元の市民団体の協力を得て世話人会を立ち上げ、庭仕事などの「家のもり」

— そのような市民活動が認められたこと也有って、名古屋市により保存されることになったのですね。今後、樟木館がどんな存在になつてほしいと思われますか?

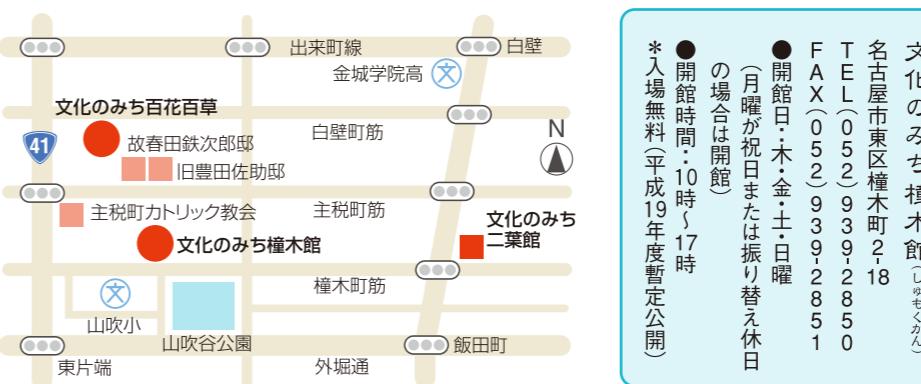
名古屋のまちの近代を振り返るところ。四季折々の風情が楽しめる、市民の憩いの場。そして、地元の皆さんお客様や友人、恋人を連れていきたくなるような場所になつてほしい。これまでいろんな人がいろんな形でここを使って市民発の文化が生まれる場ともなつていた。それも継続してゆけたら素晴らしいですね。

に加えて土曜の開館や貸室の運営のお世話をもするようになりました。

— 建物が残るという展望がないままに、皆さんはボランティアでされているんですね?



6月11日「単衣で楽しむ樟木館」が開催され、たくさんの人が呈茶、フルートデュオ演奏などを楽しんだ。



成田山貞照寺



貞奴・桃介ゆかりの場所

成田山貞照寺

貞奴は、昭和8年、62歳の年、岐阜県各務原市鵜沼に私費を投じ「金剛山桃光院貞照寺」を建立いたしました。敷地面積約6千坪の中に、本堂・鐘楼堂・仁王門・庫裏・書院・淨水舎・稻荷堂・縁起館、そして、未生まれの貞奴が羊の石彫に守られながら、静かに眠る靈廟があります。

貞奴は夫・川上音二郎亡き後、初恋の人であり、よき理解者であつた福沢桃介の協力のもと、大正7年「川上絹布株式会社」を設立。大正13年には「川上児童劇団」を結成。『御伽芝居』(子どものために大人が演じるおとぎ話)で全国を巡演しました。人気の演目「うかれ胡弓」の主人公少年フレッドに扮した貞奴が、愛用の鏡台、机、火鉢、小箪笥、手書きの台本、唯の舞台衣装とされる打掛などと共に、縁起館に展示してあります。また、幼少から成田山のお不動様を信奉してい

た貞奴が、生涯にいたいたお不動



貞照寺

岐阜県各務原市鵜沼宝積寺町
TEL(052)-84-0202
JR新鵜沼駅からタクシーで
名古屋から国道41号線を北上
し、犬山市五郎丸を左折、旧国
道41号線から国道21号線に入
り約2キロ

5分

■ JR新鵜沼駅からタクシーで
名古屋から国道41号線を北上
し、犬山市五郎丸を左折、旧国
道41号線から国道21号線に入
り約2キロ

書庫棟から

文学ボランティア 山下達治

土居下でトンネルから抜けて、清水の駅に近く、右手の高台に立つ風変わりな洋館の姿が電車の窓越しに目にに入る。周辺の緑によくなじみ、いつか別の都市で見たことのあるような懐かしい風景を見るのは、瀬戸線で通勤していく頃のひそかな楽しみでもあった。

七年前の四月、芝居に関心のある教え子を伴って行き、「ほらこれが貞奴の二葉御殿だよ」と指差した先に、骨組みのむき出しになった、解体中の洋館があった。こうなることは知らずにいたので、驚きながらも、間近にこの洋館の最期に立ち会えたことに、感謝した。知らぬ間に、好きな建物が消えていたことを知ったときのなんともいえない気持ち、この何度も味わった気持ちだけは、免れたので、むしろほっとしたのだった。

移築復元された建物で、去年の二月、城山さんからご自身の著作をいただいた。ボランティアのメンバーにくださるために、買い物袋のような布袋に文庫本を詰めて、お宅から持ってきてくださったのだ。茅ヶ崎からお一人で来られたそうで、恐縮する前に心配した。濃いサングラスで目を覆われ、とてもやせておられた。とつとつとお話をくださいました。

城山さんに生前に、ほんの少しだけお役に立てたことに、感謝している。



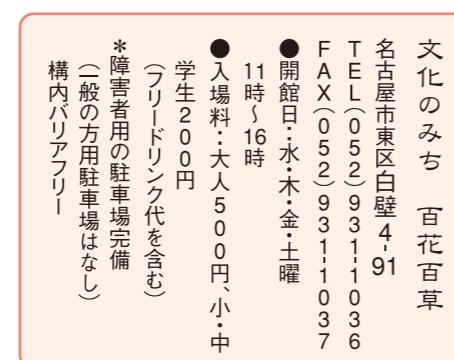
NEW SPOT

「文化のみち百花百草」で
憩いのひとときを



2007年4月開館。ホールは庭園を見ながらお茶や時にはピアノ演奏も楽しめる、心なごむ空間となっています。

スタッフのみなさん



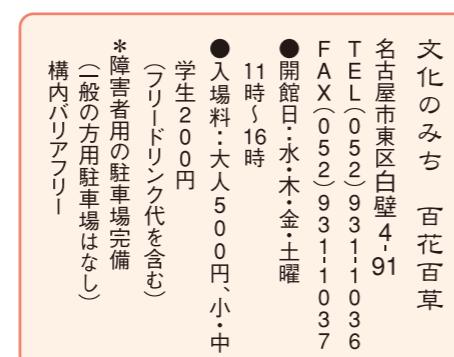
文化のみち百花百草
名古屋市東区白壁4-91
TEL(052)931-1036
FAX(052)931-1037
●開館日・水・木・金・土曜
11時~16時
●入場料:大人500円、小・中学生200円
(フリードリンク代を含む)
*障害者用の駐車場完備
(一般の方用駐車場はなし)
構内パリアフリー

1920(大正9)年に建てられた書院・茶室と土蔵内のギャラリーは貸し出しましていません。文化のみち散策の折には、ぜひお立ち寄りください。



2007年4月開館。ホールは庭園を見ながらお茶や時にはピアノ演奏も楽しめる、心なごむ空間となっています。

スタッフのみなさん



文化のみち百花百草
名古屋市東区白壁4-91
TEL(052)931-1036
FAX(052)931-1037
●開館日・水・木・金・土曜
11時~16時
●入場料:大人500円、小・中学生200円
(フリードリンク代を含む)
*障害者用の駐車場完備
(一般の方用駐車場はなし)
構内パリアフリー

1920(大正9)年に建てられた書院・茶室と土蔵内のギャラリーは貸し出しましていません。文化のみち散策の折には、ぜひお立ち寄りください。